

とちぎメディカルセンター 通信

No.23
2025.9



看護部
しもつが屋上にて
参加者の記念撮影



看護部
点滴液の調合見学

Snap News

職場体験イベント
看護部オープンホスピタル
とちぎの郷施設見学会を
開催しました



とちぎの郷
施設内見学



看護部
シーツ交換体験



とちぎの郷
嚥下食体験

Special!

TMCとちのき透析室について

Doctor's Interview

とちぎメディカルセンターとちのき
病院長

近藤 悟
(こんどう さとる)

とちぎメディカルセンターとちのきの役割について

topics

肝炎医療コーディネーター
について



市民公開講座の最新情報は
公式LINEをチェック！

とちぎメディカルセンター通信

バックナンバーはWEBで閲覧できます。

<https://www.tochigi-medicalcenter.or.jp/magazine/#log>





とちぎメディカルセンターとちのきの役割について

とちぎメディカルセンターとちのき
病院長

近藤 悟
(にんどう さとる)

平成25年4月、栃木市内の3つの病院を統合再編し管理する法人として、一般財団法人とちぎメディカルセンターが設立されました。とちぎメディカルセンターとちのき（以下：とちのき）は其中で回復期、慢性期、緩和ケア、健診、在宅療養後方支援病院としての役割を担っております。とちのきの病棟の役割についてご紹介します。

回復期リハビリテーション病棟は、脳血管疾患や骨折治療終了後の患者さんに対してほぼ毎日集中的なリハビリを実施します。

療養病棟は急性期治療後も引き続き医療介入の必要性が高く、病院での医療的療養が必要な患者さんにご利用いただきます。

地域包括ケア病棟は急性期治療後の患者さんや在宅で療養中に入院が必要になった患者さんの状態に合わせたリハビリを行います。安心してご自宅へ帰れるよう多職種がチームを組んでサポートします。また、在宅療養を続ける患者さんご家族の休養（レスパイト）のための入院も受け入れています。

一般病棟は受け入れ可能な救急、一般外来からの緊急入院、在宅療養後方支援登録患者さんが入院を必要とされた場合や、他病棟に入院中の患者さんの急変時に対応しています。

緩和ケア病棟は残念ですが現在は休棟しています。患者さんのニーズは多いと思いますので、スタッフの充実を図り再開棟に向けて準備を進めています。

また、専門特化した部門（センター）が4つあります。リハビリテーションセンター、栄養管理センターは入院、外来患者さんそれぞれに必要なメニューを立案、実践しています。総合健診センターは平成28年1月に全面改装された院内施設です。透析センターは当院のエンジンの一端を担うセンターで、慢性維持透析治療を提供しています。最近は入院透析患者さんの受け入れも積極的に行っています。

各病棟、部門以外にもメディカルスタッフが連携をして医療のサポートを行い、患者さんやそのご家族へ最良の医療やケアの実践を支援しています。褥瘡対策、栄養サポート（NST）、排尿自立支援、フットケア、身体抑制最小化チームなどが代表的なものです。

いずれの現場でも多くの専門職がチームを組み、患者さんにより適した医療、ケア、リハビリを提供しています。

私が大学時代に野球部を引退する際に、送別でいただいた色紙に、顧問であった恩師に「守一隅」という言葉を書いていただきました。これは最澄が説いた言葉で、自分自身がいる場所で精いっぱい努力し大義をなすためには、今自分がいるところでベストを尽くすといった意味です。チームスポーツの野球に通ずるものがあり、医師になってからは実臨床での座右の銘として大切にしてきました。これからも医療現場で地域の方々が安心して過ごせるように努力していきたいと思っています。

教えて！近藤先生！～とちのきの病院機能について～

Q.1 各病棟の病床数を教えてください。

回復期リハビリテーション病棟は全36床、そのうち個室が4床あります。

療養病棟は3病棟、全122床、個室が6床あります。

地域包括ケア病棟は全36床です。

一般病棟は全42床、そのうち個室が2床あります。

緩和ケア病棟は有料個室7床、無料個室7床の計14床です。

Q.2 とちのき入院対象者はどんな人ですか？

急性期治療後のリハビリ療養を目的とした患者さんが多く入院されています。

当法人は地域で完結できる包括ケアの実現をコンセプトとしています。

その中でもつがは急性期、次へのバトンを受け渡されるのがとちのきです。在宅復帰を目指す方、長期療養される方などさまざまです。



Q.3 入院期間はどのくらいですか？

病棟ごとにそれぞれの目的によって入院期間が異なります。回復期リハビリテーション病棟は対象疾患ごとに入院期間が異なります。最大で180日間入院が可能です。

Q.4 回復期リハビリテーション病棟は誰でも入院できますか？

厚生労働省が定めた入院基準があり、入院リハビリが必要な基準に該当した方が入院できます。まずは現在入院している急性期の病院で連携室や担当の看護師にご相談ください。

Q.5 入院患者に面会はできますか？

はい。コロナ禍から制限はありますが面会を行っております。2025年5月19日以降は制限を緩和しました。

週1回2名までの予約面会体制にて行っております。



Q.6 土日・夜間は診察してもらえますか？

原則休日対応はしておりません。

Q.7 インターネットは使えますか？

当院では患者さんの利便性向上の一環として、無線LAN（Wi-Fi）によるインターネット接続環境を整備しました。入院中でも使用することができます。マナーを守りご利用ください。

Q.8 人間ドックや健診は受けられますか？

はい。院内に総合健診センターを併設しており、どなたでもご希望があれば利用できます。平成28年に全面改装した施設です。

ご都合のよい時期をみてご予約ください。



Q.9 病院見学はできますか？

病棟内見学は難しいですが、院内見学は可能な範囲で対応します。

一般の方の出入りを制限している区域もありますのでご了承ください。

Q.10 今後の展望は？

地域包括ケアでの役割を強化し、かかりつけ医の先生方と連携し、地域の皆様のお役に立てようますます頑張っていきます。

TMCとちのき透析室について

TMCとちのき透析室では患者さんのQOL向上を目的とした慢性維持透析治療を提供しています。各診療科をはじめ、臨床検査センター、放射線技術センターなど各部門との連携体制を強化し、治療環境の充実に努めています。

当院の透析室は近隣にお住まいの透析患者さんの利便性向上のため約30年前に開設しました。当初透析ベッド数は18床で、月・水・金の午前中のみ透析を行っていました。大半が通院での透析治療で、他の医療機関からの紹介だけでなく、当院に通院中の患者さんの透析導入も積極的に行っていました。その後大学病院等との連携の中で患者数が増加し、月～土の午前、月・水・金の午後に透析の枠を拡大しました。透析室の増築を経て、現在の透析ベッド数は25床（1床は感染者用）まで増えました。

2013年、市内の3病院の統合再編により、当院は回復期・慢性期医療を主に担うTMCとちのきとなり、透析室でも慢性期の患者さんを中心に診療にあたっています。

現在は同じ法人内の急性期病院である、TMCしもつ

がや、大学病院からの紹介患者さんの維持透析が中心となっています。

最近は療養、リハビリを目的とした入院透析の依頼も増え、できる限り対応しています。また近隣の人工透析施設への通院が難しくなった患者さんや、ご家族の介護が難しくなった患者さんに対しても、ご要望により入院での透析を行っています。現在は医師2人、看護師7人、臨床工学技士5人、看護補助3人で約60人の透析患者さんに対応しています。



TMCとちのき透析室の特徴

TMCしもつがとの連携

急性期を担うTMCしもつがから患者さんが転院される場合は、情報を共有し対応しています。また、人工透析機器から血液の出入口となるシャントにトラブルが生じた場合は、同法人内のTMCしもつがを始め、近隣の医療機関と連携を図り、対応にあたっています。

管理栄養士からの栄養指導

患者さんのご希望により管理栄養士が患者さんやご家族を対象として栄養指導を行います。

透析中の過ごし方～運動療法の導入など～

各ベッドにテレビを設置しています。テレビ鑑賞や読書など、制限の範囲内で過ごしていただけます。

透析中はベッドに横になっている時間が多くなるため、活動量の低下に伴い体力・筋力は急速に低下します。そのため運動がとても重要です。当院では、透析患者さんが、いきいきとした生活を送りながら健康を維持できるよう、医師の指導のもと運動療法を取り入れています。理学療法士がプログラムを作成し、透析中に安全にできる運動を提供しています。例えばボールやゴム、おもりを使った運動、有酸素運動等です。患者さんの状況に合わせて運動時間を調整します。

透析がない日は自宅でのストレッチや散歩など運動を継続するためのアドバイスをを行います。挫折しそうな気持ちに寄り添い、励ますなど、コミュニケーションを大切にしています。



透析室の1日の流れ

※スケジュールは標準的なモデル例です。実際には医師、看護師、臨床工学技士が連携し、ミーティングやカンファレンスを行いながら患者さん個々の状況に合わせて対応しています。

時間	午前中	時間	月・水・金は午後コース対応
8:15～	来院 着替え 検温・体調チェック	12:30～	来院 着替え 検温・体調チェック
8:40～ 9:00～	通院患者入室 入院患者入室 体重測定・血圧測定 内服 せんし 穿刺 順次透析開始 バイタルサイン測定	13:00～ 14:00～	通院患者入室 入院患者入室 体重測定・血圧測定 内服 せんし 穿刺 順次透析開始 バイタルサイン測定
13:00～	透析回路から返血 透析終了 体重測定 着替え	16:00～	透析回路から返血 透析終了 体重測定 着替え

朝の準備について

患者さんがご来院されるまでに、安全にかつできるだけ快適に治療を受けていただけるよう準備を行います。

- 臨床工学技士が透析関連装置に異常がないか毎朝確認します。その後、透析関連機器の点検・透析液の品質検査を行い、安全が確認できてから各透析患者さんの治療に合わせた資材の準備を行います。
- 治療の内容や患者さんの体格・血液の検査結果などに合わせて使う資材の種類や膜面積、血液を固まらないようにする薬品の種類・用量が異なるため、医師の指示のもと、患者さん一人一人に合わせて用意します。
- 透析患者さんは尿が出なくなりますので、余分な水分が多すぎると心臓に負担がかかります。逆に過度に水分が少ないと急激に血圧が下がったり意識を失ってしまう場合もあります。透析治療中に誤差を少なく除水できるように体重の管理が必要です。そのため透析日は毎朝体重計に異常がないことを確認しています。



透析液供給装置が異常なく正常に動いているか、毎朝目視で確認します。



所定の位置で体重を測定し透析装置に個々の患者さんに合わせた条件を送信します。

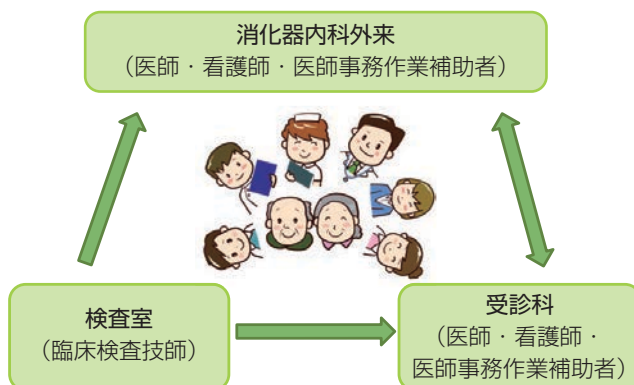


血液回路一式をセットして、透析治療を始めるための準備を行います。

肝炎医療コーディネーターとは

肝炎の早期発見と継続的な治療は、肝硬変や肝がんへの進行を防ぐためにとても重要です。肝炎医療コーディネーターは肝炎患者さんが適切な肝炎医療や支援を受けられるように、医療機関、行政機関、その他の地域や多職種の関係者間をつなぐ架け橋として、患者さんの生活の質を守る大切な役割を果たしています。

肝炎ウイルスに感染していた場合、できるだけ早く専門医療機関を受診し、継続して検査・治療を受けることが重症化予防につながります。現在、とちぎメディカルセンターしもつがでは、医師をはじめ臨床検査技師、看護師、薬剤師、医師事務作業補助者のコーディネーターを配置し、新規の肝炎ウイルス陽性の方を多職種で院内連携し、消化器内科受診を推奨する活動を行っています。治療を受ける際には、医療費助成受給が受けられます。



それぞれの職種、部門が連携し、患者さんの
消化器内科受診をサポートします

肝臓病の主な原因と病名

原因／病名
肝炎ウイルス A型肝炎、★B型肝炎、★C型肝炎、D型肝炎、E型肝炎
★自己免疫異常 自己免疫性肝炎、原発性胆汁性胆管炎
アルコール関連 肝疾患、アルコール性脂肪肝、 アルコール性肝炎、アルコール性肝硬変
肥満・糖尿病 代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD） 単純脂肪肝 代謝機能障害関連脂肪肝炎（MASH）
その他 薬剤性肝炎 代謝に関する肝臓病（ウイルソン病など）

※★印は医療費助成受給対象となります。

医療費助成受給までの流れ

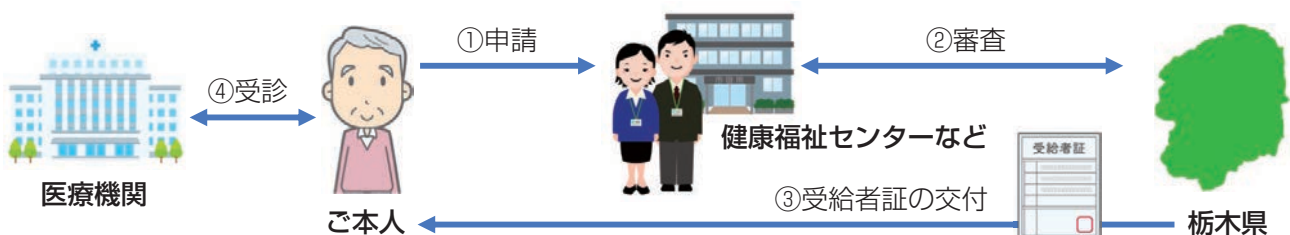
医療費助成受給には「肝炎治療受給者証」の交付を受けることが必要です。申請の窓口は、患者さんのお住まいの地域を管轄とする健康福祉センターとなります。

栃木県肝炎ウイルス陽性者フォローアップ等事業

栃木県ではB型肝炎、C型肝炎ウイルス陽性者のうち対象者要件にあてはまる方を対象に検査費用（初回精密検査・定期検査）の助成を行っています。詳しくは栃木県のホームページをご覧ください。

栃木県 肝炎ウイルス陽性者フォローアップ等事業について

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/welfare/hoken-eisei/kansen/hp/kanenkensahiyoujosei.html>



しもつが消化器内科外来診療について

水曜日午前（第2.4）、午後（第1.3.5）：自治医科大学 肝臓専門医師：森本 直樹教授
適宜、検査（MRI、CT、超音波検査、血液検査等）を行っています。予約方法や専門外来の詳細は、消化器内科外来までお問い合わせください。

お問い合わせ先：とちぎメディカルセンターしもつが TEL：0282-22-2551（代表）

地域連携協力施設のご紹介



とちぎメディカルセンターでは、地域の診療所・クリニックの先生に「地域連携協力施設」としての登録をお願いしております。第一線の地域医療を担う「かかりつけ医」の先生方と連携を密に取ることで、互いの役割を明確にし、切れ目のない医療を提供しています。このコーナーでは登録いただいている施設を毎回ご紹介します。



秋元クリニック

院長：秋元 明彦
住所：栃木市平柳町2丁目27-13
TEL：0282-29-1131
診療科：内科、消化器内科、
外科、皮膚科



<https://www.akimoto-clinic-tochigi.com>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	—	●	●	●	—
15:00~18:30	●	●	●	—	●	▲	—	—

※▲土曜日の午後の診療は15:00~16:30となります。

☆ 毎月第一日曜日の午前中は診療しております。

☆ バリアフリーのクリニックです。

爪の治療は①ドイツ式の3TO②形状記憶のワイヤー法③ガター法
④コットンパッキング変法⑤フェノール法⑥軟化ゲルなどで外来治療をしています。

超音波検査では①腹部（肝、胆、脾、腎、膀胱、子宮など）②甲状腺
③頸動脈（動脈硬化の指標など）④乳腺⑤心臓などの検査をしています。
内視鏡検査では①上部（食道、胃、十二指腸）②下部（小腸の一部、大腸）を行っております。

その他、レントゲン、骨密度測定、心電図、ホルター型心電図、等の検査も行っております。

☆ ネットで診察予約もできますのでご利用ください。

<https://ssc8.doctorqube.com/akimoto/>

すずき歯科医院

院長：鈴木 常夫
住所：栃木市川原田町370-9
TEL：0282-22-8030
診療科：一般歯科
<https://suzukidental.ci-hp.jp/>



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~13:00	●	●	●	—	●	●	—	—
14:30~19:00	●	●	●	—	●	●	—	—

当院は川原田町に開業させていただきまして32年になりました。虫歯、歯周病など歯科の疾患のほとんどが生活習慣病です。生活習慣の改善により患者様とともに歯の健康を守り、さらには全身の健康を目標に診療をしています。

地域の皆様に信頼される歯科医院を目指し、患者様一人ひとりに合わせた丁寧なカウンセリングを行い、痛みを最小限に抑える治療を心がけています。予防歯科にも力を入れ、定期的な検診やクリーニングでお口の健康をサポートさせていただいております。また最近要望の多い在宅診療も少しづつ力を入れております。これからも地域のかかりつけ歯科医として患者様に寄り添った診療を心がけていきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。

大澤歯科医院

院長：手代木 一人
副院長：手代木 美香（旧姓大澤）
住所：栃木市湊町13-11
TEL：0282-23-7234
診療科：一般歯科、小児歯科、
矯正歯科
<http://www.osawa-shikaiin.com>



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	—	●	●	—	—
14:00~18:30	●	●	●	—	●	●	—	—

当院は初代が茨城県で開業し3代目から当地に移転しました。当院長で5代目となり地域の皆様に長く支えられ地域医療に勤しんでおります。当院はスタッフや設備が充実しており、複数の歯科衛生士が予防やケアの管理を行っております。また、技工室を完備し熟練の技工士が入れ歯の修理など丁寧で専門的な治療を行える事がとても大きな特色です。歯周病予防や虫歯予防など予防歯科を中心に、インプラントや矯正、高齢者の口腔機能の改善や小児口腔機能発達不全の小児矯正にも対応しております。連綿と受け継がれてきた技術と地域との繋がりを大切にして、かかりつけ医として患者様に寄り添いお口の健康を維持できるよう考えております。

れもん在宅クリニック

院長：吉住 直子
住所：下野市祇園1丁目13-2
TEL：0285-39-8732
診療科：内科
<https://r.goope.jp/lemonhcl>



診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~12:00	●	●	●	●	●	—	—	—
14:00~17:30	—	●	●	●	●	—	—	—

※かかりつけ患者様の往診は24時間365日対応いたします。

当院は2022年12月に訪問診療中心のクリニックとして開業しました。通院が難しくなった方に対し、自宅や施設に伺い診察や処方、検査などを行います。現在常勤医3名で19歳から104歳の患者様に対し診療を行っています。下野市・栃木市・宇都宮市・小山市・壬生町など広範囲に伺っています。

私は医師になる前は介護ヘルパーをしていました。認知症高齢者の介護をする中で、患者さんへの接し方や治療方針の考え方、人生の重ね方・しまい方、などを考えてきたつもりです。患者さんの暮らしと治療の両立をお手伝いし、在宅医療を楽しめるよう応援したいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

『TMCまつり2025』開催のお知らせ

2019年の開催以来6年5か月ぶりにTMCまつりを開催します！

地域の皆様に当法人の医療と介護サービスを身近に感じていただくために、市民公開講座や血管年齢測定、看護師体験やダンス、音楽演奏、キッチンカーなど大人から子どもまで楽しめるさまざまなイベントをたくさんご用意してお待ちしています♪

日 時：2025年10月26日（日）9：30～15：00 ※雨天決行

場 所：とちぎメディカルセンターしもつが（栃木市大平町川連420-1）

内 容：詳細は公式ホームページをご確認ください。

◆主 催：一般財団法人とちぎメディカルセンター

◇後 援：栃木市・下都賀郡市医師会

◇協 賛：とちぎメディカルセンター労働組合

お問い合わせ先：法人本部 総合連携推進部

TEL：0282-20-1281



かんたん健康体操

自宅や職場で簡単にできる体操を紹介します。

足踏み語想起運動

- <方法>
- ①お題をひとつ決めましょう。（野菜の名前、植物の名前など好きなお題でOK!）
 - ②椅子に座って、左右交互に腿^{もも}上げをしましょう。
 - ③腿^{もも}上げをしながら、お題に沿った単語を5秒間声に出してみましょう。
 - ④5秒間を1セットとし、5セット行いましょう。



<解説>

「腿^{もも}上げ」をしながら「言葉を発する」というふたつのことを同時に行うことで、考える力や注意力を保つのに役立ち、『認知機能の低下を予防する効果』が期待できます！

▼お題「野菜の名前」

「トマト・ニンジン・ピーマン・たまねぎ・ナス・きゅうり・じゃがいも…」
など野菜の名前を声に出しながら、右、左と腿^{もも}上げをしてみましょう！

<運動上の注意>

- ・身体に痛みがある場合には運動を控えましょう。
- ・医師から運動を止められている場合には行わないでください。



YouTube公式
チャンネルで
詳しい動画を
ご覧になれます。

監修：介護老人保健施設 とちぎの郷



23号の表紙 職場体験イベントの様子

今回の表紙は看護部のオープンホスピタルと、とちぎの郷の施設見学会の様子です。当法人への就職を検討している方を対象に、施設の様子や職場の雰囲気を感じていただくことを目的として開催しています。希望の部署での見学や体験、先輩職員との交流などを通じて、法人に対する理解を深めていただけたと思います。

発行・編集

一般財団法人
とちぎメディカルセンター
総合連携推進部 広報室



<https://www.tochigi-medicalcenter.or.jp/>